

平成23年度

事業報告書

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日

社団法人 全国子ども会連合会

東京都文京区大塚6-1-14

■事業統括

新しい時代に求められる子ども会のあり方。

平成 23 年 2 月総会において承認を受けた社団法人全国子ども会連合会の 23 年度運動方針の序文(の一部)は、以下のとおりです。

全国子ども会連合会は、昭和 40 年(1965 年)全国組織として認可を受け、子ども会活動が安全に楽しく行われるよう、その支援に努めてきた。

子ども会の活動は、主として、地域における異年齢集団による野外活動であり、この活動は、自然発生的であると共に、子どもの発達に必要な人間関係・コミュニケーションの手段であった。

やがて、子どもの活動は集団から「ひとりぼっち」化し、戸外の活動から室内活動へと変わっていく……。平成 20 年に文部科学相から生涯学習審議会に「新しい時代に求められる青少年教育のあり方」について諮問した理由の中に体験活動が不十分になっていることを述べているが、その後もこの傾向に歯止めがかかったわけではない。

全国子ども会連合会は、全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会、全国子ども会育成中央会議・研究大会、全国子ども会振興研究会等を開催し、集団活動の振興・充実を図ってきた。時代がどのように変わっても、子どもの成長に必要なのは、人間関係・コミュニケーションの中で育ち培われるという信念からである。

こうした前提から 23 年度進めた事業について、以下、総括的に報告する。

1. 連合会事業

(1)子ども会事業、助成金事業等、前年度に引き続きその浸透を図った。

(2)とくに、東日本大震災への対応や教訓から、対象においては防災教育まで広げると共に、救援活動にも取り組んだ。また、共済事業との関連で、青少年の安全に関する普及啓発活動(10 条 2 項)をも見すえて行うこととなった。

(3)平成 24 年 2 月 10 日、11 日開催された「第 45 回全国子ども会育成中央会議・研究大会」は、「地域の子どもを育む子ども会の使命」を開催趣旨として行われた。分科会も、昨年の東日本大震災を受けて、第 1 分科会「安全教育の理論と方法」、第 2 分科会「今子どもに求められる体験プログラム」、第 3 分科会「安全教育の実践と応用」をテーマとして進められた。「安全・安心は地域の絆」は、全体会で採択された第 1 席のスローガンである。

(4)平成 24 年 4 月 16 日、事業委員会主導による常任委員会が開催された。今後、公益社団法人に認可されたあとの団体のあり方を考える方向に進むことが期待される。

2. 共済事業

(1) 平成 23 年度の概要

- ・ 23 年 2 月総会で、共済事業の認可取得を運動方針の一つに掲げ、法律(PTA・青少年教育団体共済法)に基づく新たな共済事業を指向することを確認した。
- ・ 23 年 5 月総会で、制度設計（掛金、共済金、準備金）について議決。
- ・ 23 年 9 月臨時総会で共済規程(事業方法書、約款、算出方法書)を議決。
- ・ 23 年 12 月 27 日行政庁から認可を受けた。
- ・ 24 年 2 月 8 日行政庁へ事業開始届を提出し、共済募集チラシを作成し、募集を開始した。
- ・ 平成 24 年 1 月 6 日、4 月 27 日の事務担当者会議（県・市子連の事務担当者への説明会）を開催した。

(2) 平成 24 年 4 月共済事業スタートに向けて

- ・ 健全かつ適正な共済事業の運営を行うため、内部管理体制等の組織作りと内部規程の整備が最優先事項となる。担当職員の確保と共済事業及びコンプライアンスや事務処理についての研修を行い、体制の強化を進める。

3. 法人移行(公益社団法人)について

(1) 23 年 2 月総会で、平成 24 年度に公益法人の認定申請を行うことを確認した。

(2) 24 年 2 月総会で、スケジュールについて承認。25 年 4 月公益法人となるため、24 年 8 月までに申請を行う。

定款その他の規程の変更及び整備を、3 委員会で審議し、理事会で承認し平成 24 年度度第 1 回総会で決議し、または報告を行う。

4. 監査の指摘を受けて

23 年 5 月 10 日、監事の所見に基づき、以下の改善を図った。

(1) 財務の健全化を図るため、共済事業の掛金算出を行い、被共済者保護を第一優先事項として、健全な共済事業の運営を目指し、子ども会の事業が安全に適切に運営されるように運営費の見直しを行った。

(2) 事業開発会計は企業協賛事業の一部として公益目的事業に組み入れた。

(3) 回収不可能な債権（会費、賛助会費、売上の未収入金）を処理した。

(3) ビル会計に修理・修繕の積み立てを計上した。また 1 階 5 階の整理整頓を含めて活用を進めた。

■組織の状況

I 組織の状況

1 平成23年度の会員状況

- ・正会員：57（45県+12市）
- ・準会員：1

2 役員に関する事項

(1)当該年度末時点で在籍している役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任 年月日	任期満了 年月日	重要な兼職の 状況
丸山康昭 (熊本県)	会長		平成22年 6月13日	平成24年 6月12日	
山上武久 (神奈川県)	副会長	共済事業・安全会	平成22年 6月13日	平成24年 6月12日	
小林勝弘 (兵庫県)	副会長	事業	平成22年 6月13日	平成24年 6月12日	
磯田謙一 (島根県)	副会長	総務財務	平成22年 6月13日	平成24年 6月12日	
細川昭一 (札幌市)	理事		平成22年 6月13日	平成24年 6月12日	
宮田浩一 (山形県)	理事		平成23年 6月10日	平成24年 6月12日	
石井幸夫 (東京都)	理事		平成22年 6月13日	平成24年 6月12日	
武士俣昭司 (新潟県)	理事		平成22年 6月13日	平成24年 6月12日	
河本功 (静岡県)	理事		平成22年 6月13日	平成24年 6月12日	
荒井公夫 (富山県)	理事		平成23年 6月3日	平成24年 6月12日	
小林幸男 (岐阜県)	理事		平成22年 6月13日	平成24年 6月12日	
池田龍男	理事		平成22年	平成24年	

(福岡県)			6月13日	6月12日	
宿野勝 (神戸市)	理事		平成22年 6月13日	平成24年 6月12日	
吉寄三義 (学識経験)	常務理事		平成23年 2月10日	平成24年 6月12日	
中山ひろみ (大阪府)	監事		平成22年 6月13日	平成24年 6月12日	
後藤守吉 (群馬県)	監事		平成22年 6月13日	平成24年 6月12日	

(2)平成23年度中に退任した役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任 年月日	退任の理由
工藤勝則 (岩手県)	理事		平成22年 6月13日 ～平成23年 2月28日	・ 県代表者辞任の為
上田秀徽 (福井県)	理事		平成22年 6月13日 ～平成23年 4月1日	・ 自己都合による
神谷明宏 (学識経験 理事)	理事		平成22年 6月13日 ～平成23年 5月25日	・ 自己都合による

II 県（市）子連の状況

1 会長（代表者）の交代

県（市）	新会長	旧会長	異動年月日	備考
青森県	矢野 均	鎌田 正勝	平成 23 年 5 月 29 日	
福島県	夏井 隆一	新井田 萬壽子	平成 23 年 5 月 29 日	
石川県	正木 明	香村 幸作	平成 23 年 5 月 29 日	
栃木県	内藤 進	山中 睦夫	平成 23 年 5 月 30 日	
宮崎県	山下 明	柏木 忠典	平成 23 年 6 月 1 日	
広島市	蒲原 敏博	畠山 昭雄	平成 23 年 7 月 7 日	

2 事務所等の移動

県（市）	新事務所	備考
山形県	山形県山形市鉄砲町 2-19-68 山形県村山総合支庁内	

3 新規加入承認

名称	代表者	住所等	備考
熊本市子ども会 育成協議会	大西 一史	〒860-0843 熊本県熊本市草葉町 5-1 中央公民館 3 階 TEL：096-322-5890 FAX：096-354-2304	平成 24 年 4 月 1 日より 政令指定都 市として新 規入会

4 退会組織

県（市）	退会年月日	退会理由	備考
京田辺市	平成 23 年 9 月 27 日	会費未納及び組織の状況が確認 できない為。平成 23 年度臨時総 会にて除名を承認。	
京都市	平成 23 年 9 月 27 日	平成 23 年 4 月 1 日付で退会届が 提出。平成 23 年度臨時総会にて 退会を承認。	

5 会員都道府県・指定都市子ども会連合組織

別紙参照

■事業報告

I 公益目的事業

1 連合会事業

①第45回全国子ども会育成中央会議・研究大会

- 1) 期日：平成24年2月10(金)～11日(土・祝)
- 2) 場所：目白大学（東京都新宿区）
- 3) 内容：開会式、表彰式、記念講演、基調報告、情報交換会・受賞者を囲む会
分科会、全体会、閉会式
- 4) 参加者：394名
- 5) 参加費：6,300円

②平成23年度全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会

- 1) 期日：平成23年7月27(水)～31日(日)
- 2) 場所：国立中央青少年交流の家（静岡県御殿場市）
- 3) 内容：子ども会、ジュニア・リーダーの過去を知り、現在を確認し、未来へどうつなげていくかをテーマ別、対象別に学習し、今後地域で活動するにあたり必要なスキル、コミュニケーション能力、情報ネットワークを身につける学習を行った。
- 4) 参加者：87名
- 5) 参加費：12,600円（参加費6,300円、食費等6,300円）

③地区子ども会育成研究協議会

- 1) 目的：地区会長会議において内容を検討し、いろいろな討議方法をもって子ども会活動の振興に資した。
- 2) 内容：部会協議とKYT等ワークショップを企画した
- 3) 助成額：1地区300,000円

地区	開催地	開催期日	開催場所	参加者数
北海道地区	中標津町	10/15～10/16	中標津町総合文化会館	110名
東北地区	山形県	11/12～11/13	山形市山形国際ホテル	245名
関東甲信越静岡地区	長野県	10/16～10/17	信州松代ロイヤルホテル	585名
東京地区	東京都	11/19	立川市民会館	146名
東海北陸地区	三重県	10/1～10/2	アストプラザ	359名

近畿地区	兵庫県	12/10～12/11	パルシェ香の館	94名
中国四国地区	松山市	11/5～11/6	国際ホテル松山	216名
九州地区	福岡県	11/5～11/6	福岡市「エルガーラホール」	484名
指定都市地区	仙台市	11/19～11/20	秋保温泉ホテルニュー水戸屋	201名

④地区子ども会ジュニア・リーダー大会

- 1) 目的：研修的な内容とし、資質の向上を図る。
- 2) 内容：青少年の自立支援を内容に組み入れ、地域活動への参画を促す
- 3) 助成額：参加者 ～50名＝5万円、51～100名＝10万円、101名～＝15万円

地区	開催地	開催期日	開催場所	参加者
北海道	美瑛町	8/4～8/7	国立大雪青少年交流の家	51名
東北地区	岩手県	8/4～8/6	国立岩手山青少年交流の家	196名
関東甲信越静地区	栃木県		中止	
東京地区	東京都	6/25～6/12	町田市大地沢青年の家	35名
東海北陸地区	福井県	8/6～8/7	福井県立青年の家	147名
近畿地区	大阪府		中止	
中国・四国地区	岡山県	8/19～8/21	国立吉備青少年自然の家	217名
九州地区	佐賀県	7/29～7/31	佐賀県立波戸岬少年自然の家	185名
指定都市地区	神戸市	8/4～8/7	しあわせの村、神戸市内	116名

⑤広報事業

- 全子連 NEWS 臨時増刊号発行(平成 23 年 5 月 10 日発行)
- ウェブサイトを活用した情報発信

⑥全国子ども会連合会表彰

- ・ 7月 子ども会・ジュニア・リーダー組織の表彰
- ・ 2月 指導者、育成者、育成組織・指導者組織、奨励賞の表彰
(中央会議の情報交換と一緒に祝いのお会を行い、情報交換会費を全子連が負担した)

表彰区分	団体・個人数
単位子ども会組織 (団体)	21
ジュニア・リーダー組織 (団体)	6
指導者組織および育成組織 (団体)	14
指導者・育成者 (個人)	69
奨励賞 (団体)	4

⑦事業開発に関する事業

○全子連発行資料の優先頒布

子ども会活動の充実、育成研究のための活動資材として会員に対して、発行資料の優先頒布を行った。

○子ども会活動教材の販売

子ども会活動の充実を図るために、参考資料の作成・頒布、活動教材を掲載した子ども会サポートガイドを配布し、地区育成研での即売、大規模会合への出張販売を行なった。

○講習認定登録事業

○ジュニア・リーダーの認定及び登録

ジュニア・リーダー、集団指導者の認定を行う。

(1) ジュニア・リーダー

初 級		中 級		上 級	
秋田県	1 名	秋田県	2 名	札幌市	38 名
埼玉県	5 名	埼玉県	28 名	青森県	1 名
東京都	17 名	千葉県	85 名	埼玉県	18 名
愛知県	30 名	東京都	4 名	千葉県	18 名
高知県	4 名	愛知県	14 名	高知県	3 名
北九州市	2 名	高知県	2 名	北九州市	1 名
福岡市	6 名	福岡市	3 名	福岡市	1 名
宮崎県	7 名	宮崎県	12 名	宮崎県	7 名
沖縄県	43 名	沖縄県	50 名	沖縄県	7 名
合 計	115 名	合 計	200 名	合 計	94 名

(2) 集団指導者

初 級		中 級		上 級	
埼玉県	2 名	千葉県	8 名		
千葉県	30 名				
高知県	3 名				
合 計	35 名	合 計	8 名	合 計	0 名

※ 人数は、申請された都道府県・指定都市子連で換算しております。

○指導者養成事業

地区子ども会KYT指導者養成講習会【初級】

地 区	開催地	開催期日	参加者数
関東甲信越静	群馬県	5月22日	60名

関東甲信越静	栃木県	6月12日	46名
東海・北陸	福井県	6月19日	24名
東海・北陸	福井県	7月3日	13名
九州・沖縄	鹿児島県	7月9日	74名
関東甲信越静	静岡県	7月10日	17名
関東甲信越静	新潟県	7月20日	20名
九州・沖縄	沖縄県	8月28日	17名
関東甲信越静	神奈川県	9月11日	19名
関東甲信越静	埼玉県	9月17日	20名
中国・四国	広島市	11月5日	38名
東海・北陸	岐阜県	1月15日	67名
関東甲信越静	長野県	2月4日	35名

地区子ども会KYT指導者養成講習会【中級】

主催地区	開催地	開催期日	参加者数
関東甲信越静	東京都	7月8日～10日	37名

子ども会KYT指導者養成講習会【中級】

- ①期日 平成23年10月14日～16日
- ②場所 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）
- ③中級コースにおける子ども会KYTの指導方法
- ④中級 参加者18名

○指導者派遣事業

子ども会活動をすすめるための研修会を開催するにあたり、本連合会専門委員等および指導者で登録したものの派遣を求めに応じて行った。

⑧関連団体機関・企業団体等連携事業

○財団法人簡易保険加入者協会：子ども会指導者の対するラジオ体操講習会

- ① 期日 平成23年6月～8月中旬
- ② 場所 全国3地区
- ③ 内容 ラジオ体操の普及
- ④ 提供 ラジオ体操普及連盟
 - ・指導者の派遣費用
 - ・会場費等の費用

実施会場

開催地	開催日	会場	参加人数
栃木県	7月3日	宇都宮市立泉が丘中学校体育館	235名
北海道	7月10日	千歳市立青葉中学校	50名
千葉県	8月25日	千葉県立東金青年の家	75名

○夏休みラジオ体操キャンペーン

1) ベネッセ・夏休み子ども会ラジオ体操キャンペーン

協賛企業：株式会社ベネッセコーポレーション

実施個所：広島県、広島市、福岡県、北九州市、福岡市

協賛内容：ラジオ体操カード及び全員プレゼント応募葉書等(75,440件)。協賛金。

2) 大正製薬・子ども会夏休みラジオ体操キャンペーン

協賛企業：大正製薬株式会社

実施個所：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市

協賛内容：ラジオ体操カード及びリポビタン子ども（ドリンク）等(30,000件)。協賛金。

3) 子ども会ドッジビー大会企業協賛

協賛企業：日本テトラパック株式会社

実施個所：北海道、群馬県、神奈川県、石川県、愛知県

協賛内容：参加者へのドッジビー配布及び協賛企業紙容器使用飲料等(1,227枚)。協賛金。

4) ベネッセ・子ども会「お祝い寄せ書きノート」プレゼントキャンペーン

協賛企業：株式会社ベネッセコーポレーション

実施個所：岩手県、栃木県、群馬県、神奈川県、横浜市、新潟県、石川県、愛知県、名古屋市、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、神戸市、奈良県、岡山県、広島市、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県

協賛内容：新小学1年生、新中学1年生へのお祝い寄せ書きノート等(59,592件予定)。協賛金。

○子ども会推奨マーク制度

子ども達の健全な育成に寄与する商品・サービスとして、全国子ども会連合会が認定した。

- ・認定件数 2 件
- ・継続申請 4 件

商品・サービス名	申請者	商品・サービス内容	備考
「mamorino」	KDDI 株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
定額制コンタクト メルスプラン	株式会社メニコン	月額制でいつでも新品と交換できるコンタクトレンズのプラン	継続
コドモバイル SoftBank 740N	ソフトバンクモバイル 株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
みまもりケータイ SoftBank 005Z	ソフトバンクモバイル 株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続

キッズケータイ HW-02C	株式会社 NTT ドコモ	子ども用に機能制限をした携帯電話	新規
どこ・イルカ	ユビキタス	子どもの現在地を把握する為に特化した「児童見守り」端末	新規

⑨助成金等事業

○子どもゆめ基金助成事業（独立行政法人国立青少年教育振興機構）

1) 集団遊び体験普及活動「ドリームキッズアドベンチャー」

事業目的：現代子どもたちが不足している「他人とお互いに協力し、物事を成し遂げる」ことを遊びを通じて、その楽しさ大切さを体験する事業。同時に地域の大人、指導者育成者にその大切さを啓蒙し、地域での実践を促進していく。

開催地	開催日	会場	参加者 子ども
福岡市	平成 23 年 10 月 16 日	城南体育館	260
兵庫県	平成 23 年 11 月 6 日	加古川市立野口南小学校	310
仙台市	平成 23 年 12 月 4 日	宮城広瀬総合運動場	426
熊本県	平成 24 年 1 月 29 日	玉名市総合体育館	334
神奈川県	平成 24 年 2 月 19 日	伊勢原市青少年センター	250

2) 読み聞かせ普及推進活動「全国読み聞かせリレーション」

事業目的：読み聞かせを通じて子どもたちの感性や表現力、コミュニケーション能力を育む事を目的とした事業。同時に読み聞かせの指導者を養成することにより、読み聞かせの輪を広げ、継続的な地域での活動を促進していく。午前子どもを対象とした読み聞かせ会、午後大人を対象とした指導者養成セミナーを実施。

開催地	開催日	会場	参加者数	
			子ども	大人
北海道	平成 23 年 9 月 25 日	新ひだか町公民館	42	56
横浜市	平成 23 年 10 月 22 日	横浜市青少年育成センター	38	61
神奈川県	平成 23 年 12 月 18 日	大和市青少年センター	52	84
熊本県	平成 24 年 2 月 26 日	天草市民センター	61	93
広島県	平成 24 年 3 月 18 日	三次市福祉保健センター	57	49
静岡県	平成 24 年 3 月 25 日	焼津市総合福祉会館 「ウェルシップやいづ」	35	58

3) 安全指導者養成講習会

事業目的：子ども会 KYT を活用して、子ども会活動を始めとする青少年育成活動を安全・安心に進める為の技術を学ぶ指導者養成講習会。

開催地	開催日	会場	参加者
福岡県	平成 23 年 7 月 2 日～3 日	福岡県立社会教育総合センター	66 名

○緑の募金事業「子ども会グリーンプロジェクト」（公益社団法人国土緑化推進機構）

事業目的：植樹活動を通じて自然を体感し、子どもたちの自然を愛する心、地域を愛する心を育むことを目的とした事業

開催地	開催日	会場
富士市	平成 23 年 4 月 10 日	富士市桑崎 1015
石狩市	平成 23 年 5 月 22 日	石狩市厚田あつたふるさとの森
美濃加茂市	平成 23 年 6 月 5 日	美濃加茂市山之上町
長野県	平成 23 年 9 月 11 日	国立信州高遠青少年自然の家
兵庫県	平成 24 年 3 月 24 日	淡路市多賀淡路文化会館
山口県	平成 24 年 3 月 24 日	やまぐちリフレッシュパーク
沖縄県	平成 24 年 5 月実施予定	西原町立運動公園

○東日本大震災義援金について

- 東日本大震災募金総額 21,154,215 円
- 平成 23 年 3 月募金受付額 1,644,816 円
- 平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日 19,492,757 円
- 平成 24 年 4 月 16,642 円
- 送金額（50 万円は前年度繰越額から支出）

	第一回送金 H23 年 9 月 22 日	第二回送金 H23 年 12 月 29 日	第三回送金 H24 年 3 月 28 日	合計 (H24 年 3 月 29 日現在)
青森県子連	50 万円	50 万円	20 万円	120 万円
岩手県子連	200 万円	200 万円	60 万円	460 万円
宮城県子連	200 万円	200 万円	60 万円	460 万円
秋田県子連	10 万円	10 万円	10 万円	30 万円
山形県子連	10 万円	20 万円	10 万円	40 万円
福島県子連	200 万円	200 万円	60 万円	460 万円
仙台市子連	100 万円	100 万円	30 万円	230 万円
茨城県子連		150 万円	20 万円	170 万円
千葉県子連		150 万円	20 万円	170 万円
合計	770 万円	1,080 万円	290 万円	2,140 万円

(振込手数料 16,200 円)

・平成 24 年 3 月 31 日現在募金残高 221,376 円

※平成 24 年 4 月 30 日現在募金残高 337,018 円

2 安全会事業

1. 見舞金給付事業

(1) 加入状況

子ども（幼児）	指導者・育成者	計
3, 157, 061(151, 299)	1, 243, 698	4, 400, 759

(2) 見舞金給付状況

	件数	金額（円）	内訳
死亡	1	6, 000, 000	大人1名
後遺障害	15（28）	6, 729, 330	子ども13名大人2名
疾病・傷害	5, 590	129, 761, 065	入院・通院に関する給付
計	5, 605	142, 490, 395	

*後遺障害の（28）は平成23年度に申請のあった件数である。

差し引きの13件については、8件の後遺障害が確定していない事故と5件の非該当事故の状況である。

2. 賠償責任保険の契約 1,724,201 円

①対人 5件 解決 3件（457, 770円）

内払い 0件

有責 0件

文書報告 2件

電話報告 0件

取り下げ 0件

無責 0件

②対物 143件 解決 82件（1, 266, 431円）

有責 23件

文書報告 4件

電話報告 0件

取り下げ 21件

無責・免責 13件

○傷害保険の契約

1)NPO 傷害保険 全子連会員県(市)子連の有給事務局職員を対象

①加入者数 149人

②医療保険 112,000円(1件)

2)ボランティア活動保険 地域子ども会の育成者・指導者等、無償ボランティアを対象

・加入者数 4,574人

・医療保険 562,500円(8件)

3 共済事業

(1) 平成 23 年度共済認可までの流れ

- ・平成 23 年 5 月 25 日 第 1 回通常総会にて、制度設計（共済掛金、準備金）承認
- ・平成 23 年 9 月 27 日 臨時総会。定款の変更と共済規程(事業方法書、約款、算出方法書)承認
- ・平成 23 年 12 月 16 日 文部科学省 認可申請
- ・平成 23 年 12 月 27 日 文部科学大臣 認可
- ・平成 23 年 2 月 8 日 共済事業の開始届を提出
- ・平成 24 年 2 月 20 日 共済事業運営方針を承認（総会）

(2) 共済事業認可後の経緯

- ・平成 24 年 1 月 6 日 共済事業を中心とした事務担当者会議（各県・市子連の事務担当者への説明会）開催
- ・平成 24 年 1 月 共済加入者募集チラシ作成及び様式の制作
- ・共済事業の監督指針や検査マニュアルで求められている方針、諸規程の策定、整備を進めた
- ・共済事業を担当する職員の補充を行い、24 年度も随時補充し、共済事業の適切な運営を確保する。
- ・平成 24 年 2 月共済契約者である市区町村子連、県子連等へ募集チラシを発送し、募集を開始。
- ・共済金支払い基準、支払いマニュアル、運営の手引の策定を進めたが、24 年 4 月スタート後も運営上の課題が出る事が予想され、法令に法った健全な運営のため改善を進める。
- ・共済事業運営の手引きの作成を進めたが、24 年度早々にも各県の意見質問を受けて見直しを行う。

(3) 共済会計における財産及び損益の状況

①財産の状況

(単位:円)

項目	平成 24 年 3 月 31 日現在
流動資産	14,126,257
固定資産	10,000,000
資産合計	24,126,257
負債合計	23,999,272
正味財産	126,985
準備金	10,000,000

②損益の状況

(単位:円)

項 目	平成 24 年 3 月 31 日現在
当期収入	
他会計からの繰入金	30,000,000
当期支出額	
事業費	29,873,015
当期収支差額	126,985

(4) 今後の課題

共済事業においては、まず共済契約者の保護、法令に遵守した健全な運営が求められ、内部体制の強化として、諸規程の整備が急務であり、人員の確保とリスク管理の重要性を十分に把握し、役職員の研修を行い、知識の習得と周知徹底、内部管理の強化を重点的に進める。

また、財務の健全性を保つため、被共済者の増加促進運動の展開、募集のための費用の見直しや改善、支払事務体制のシステム化とさらなる改善を進めることが重要である。また各種マニュアル、共済事業運営の手引き等の改修、業務委託先である県・市子連との連携の強化とリスクの共有、ホームページへの掲載、事故軽減のための安産普及啓発運動の展開を推進していくことが重要である。

II 収益事業

○全子連ビル管理・賃貸事業

①賃貸事業

社団法人全国子ども会連合会 賃貸収入 3,950 千円/年

NPO法人東京都子ども会連合会 賃貸収入 1,449 千円/年

②ビル管理事業

エレベーター保守点検費用 226,800 円/年 、警備費用 144,900 円/年

■法人運営の状況

諸会議開催報告

1. 総会

期日	出欠	内容	審議結果
第1回 平成23年 05月27日	出席者 52名 委任状 7名 欠席者 3名	1. 役員補選について 2. 安全会運営委員会 委員の補選について 3. 平成22年度 事業計画 及び 収支予算の補正について 4. 平成22年度 事業報告について 5. 平成22年度 収支決算について 6. 監査報告について 7. 平成23年度事業計画及び予算の一部変更（案）について 8. 共済制度の制度設計について 9. 社団法人全国子ども会連合会会費について 10. 第46回（平成24年度）全国子ども会育成中央会議・研究大会の開催地について 11. 職員就業規則・職員給与規程・職員退職金規程の改訂について 報告事項 12. 準会員京田辺市青少年を守る会の身分について 報告事項 ・東日本大震災について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 理事会 再度審議 承認
臨時総会 平成23年 09月27日	出席者 53名 委任状 6名 欠席者 3名	1. 加盟組織の退会について 2. 理事の辞任について 3. 社団法人全国子ども会連合会定款変更及び修正について 4. 共済事業の認可申請について 5. 共済事業認可申請に添付する書類について 6. 共済事業会計の設置について 報告事項 東日本大震災の義援金について	承認 承認 承認 承認 承認 承認
第2回 平成24年 09月27日	出席者 45名 委任状 13名 欠席者 1名	1. 平成23年度収支予算の第2回補正について 2. 平成24年度事業計画及び収支予算の補正について 3. 共済事業の運営方針について 4. 法人に関する審議、承認機関について 5. 法人移行にともなう定款変更の案について 6. 諸規程の改定について 報告事項	承認 承認 承認 承認 承認 承認

		<ul style="list-style-type: none"> ・熊本市子ども会育成協議会の入会について ・共済事業認可とその後の経過、今後のスケジュールについて ・事務担当者会議について ・事務局の執行体制と組織規程の変更について ・共済事業開始と公益法人移行にともなう役員体制と内部統制の整備について ・法人移行にともなう今後の課題とスケジュールについて ・東日本大震災義援金について ・平成23年度中央会議・研究大会について ・指定都市子ども会連絡協議会より提出されている要望書について（全国子ども会連合会地区の再編と地区別理事数の改正について） ・全国子ども会賠償責任保険の契約について 	
--	--	--	--

2. 理事会

期日	出欠	内容	審議結果
第1回 平成23年 5月9日	出席者 10名 委任状 2名 欠席者 1名 監事 2名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 共済制度の制度設計（名称『全国子ども会安全共済会』掛け金、給付金、準備金について） 2. 今後のスケジュール 3. 東日本大震災について 4. 平成22年度の事業報告及び収支決算報告 5. 平成23年度の事業計画及び予算の変更 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・東北地方被災地視察報告 ・平成23年度第1回通常総会・第2回理事会の開催 	承認 承認 承認 承認 承認
第2回 平成23年 5月25日	出席者 12名 委任状 1名 監事 2名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 役員補選について 2. 安全会運営委員会委員の補選について 3. 平成22年度事業計画及び収支予算の補正について 4. 平成22年度事業報告について 5. 平成22年度収支決算について 6. 監査報告について 7. 平成23年度事業計画及び予算の一部変更（案）について 8. 共済制度の制度設計について 9. 社団法人全国子ども会連合会会費について 10. 第46回（平成24年度）全国子ども会育成中央会議・研究大会の開催地について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災について 	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

第3回 平成23年 5月26日	出席者 名 委任状 名	1. 副会長の選任について 2. 副会長代行順位	承認 承認
第4回 平成23年 6月28日	出席者 13名 委任状 1名 欠席者 1名 監事 2名	1. 共済制度の制度設計の補足について 2. 平成24年度以降の事業計画及び予算概要の作成について 3. 共済制度を進めていく具体的スケジュールについて 4. その他 ・第45回全国子ども会育成中央会議・研究大会について ・東日本大震災支援計画について 報告事項 ・文部科学省「共済に関するブロック別説明会」の報告について	承認 承認 承認 承認
第5回 平成23年 8月25日	出席者 11名 委任状 3名 欠席者 1名 監事 2名	1. 社団法人 全国子ども会連合会の定款変更について 2. 全国子ども会共済会事業の認可申請について 共済規定事業方法書（案）約款（案）算出方法書（案） 3. 三事業年度の事業計画書（案）および収支予算書（案）について 4. 審査基準（案）について 5. 4地区別全国子ども会共済事業認可説明会に開催について 6. その他 ・共済事業認可書類一式 ・第45回全国子ども会育成中央会議・研究大会 ・東日本大震災の義援金	承認 承認 承認 承認 承認
第6回 平成23年 9月27日	出席者 14名 欠席者 1名 監事 2名	1. 加盟組織の退会について 2. 理事の辞任について 3. 社団法人全国子ども会連合会定款変更及び修正について 4. 共済事業の認可申請について 5. 共済事業認可申請に添付する書類について 6. 共済会計の開設について 報告事項 ・認可後予測役員組織図の提示 ・東日本大震災の義援金募金状況と支援金額	承認 承認 承認 承認 承認 承認
第7回 平成23年 11月16日	出席者 13名 委任状 1名 監事 2名	1. 認可申請の経過について 2. 認可申請添付書類の意向調査について 3. 今後の作業スケジュールについて 4. 第45回全国子ども会育成中央会議・研究大会 第2回通常総会（予算・事業計画）の日程について 5. 理事会において決議すべき事項について	承認 承認 承認 承認

第8回 平成23年 12月21日	出席者 13名 委任状 1名 欠席者 1名 監事 2名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 共済事業認可申請書類について 2. 審査基準、業務委託契約書、募集チラシについて 3. 法人移行について今後のスケジュールと定款、規程の整備について 4. 第2回通常総会について 5. 全国子ども会連合会表彰について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務担当者会議について ・ 東日本震災義援金残金の扱いについて ・ ブロック説明会について（Q&A） 	承認 承認 承認 承認 承認
第9回 平成24年 1月23日	出席者 13名 欠席者 1名 監事 2名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 役職員の執行体制について 2. 共済事業の開始に伴う今後のスケジュール及びプロセスについて 3. 法人移行プロセスと今後のスケジュールについて 4. 平成23年度事業計画及び収支予算の補正について 5. 平成24年度事業計画及び収支予算の補正について 6. 全国子ども会育成中央会議・研究大会について 7. 熊本市子ども会育成協議会の入会について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共済事業認可（平成23年12月27日付け）について ・ 事務担当者会議について ・ 東日本大震災義援金について ・ 平成23年度中央会議・研究大会について ・ 死亡事故（岡山市）について ・ 全国子ども会賠償責任保険の契約について 	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
第10回 平成24年 2月19日	出席者 12名 欠席者 2名 監事 2名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成24年度事業計画及び収支予算の補正について 2. 共済事業の運営方針について 3. 事務局の執行体制と組織規程の変更について 4. 定款変更の案について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月3日総務財務委員会報告 ・ 2月15日安全会運営委員会報告 ・ 第2回通常総会の議案について ・ 指定都市子ども会連絡協議会より提出されている要望書について 	承認 承認 承認 承認
第11回 平成24年 3月29日	出席者 13名 欠席者 1名 監事	<ol style="list-style-type: none"> 1. 共済事業について 全国子ども会安全共済会審査委員会設置規程案について 支払事務体制（全子連事務局）案について 2. 定款変更案について 3. 総会決議が必要な規程について 	承認 承認 承認

	2名	<p>会費規程案</p> <p>役員の報酬及び費用に関する規程案</p> <p>総会運営規則案</p> <p>理事会運営規則案</p> <p>4. 重要な規程等について</p> <p>理事の職務権限規程案</p> <p>監事監査規程案</p> <p>内部監査規程案</p> <p>リスク管理規程案</p> <p>倫理規定案</p> <p>コンプライアンス規程案</p> <p>委員会規程案</p> <p>組織図案</p> <p>経理規程案</p> <p>5. 総会までのスケジュールについて</p> <p>6. 平成23年度決算の確認事項について</p> <p>7. 嘱託職員及び臨時職員雇用規程変更案について</p> <p>8. 職員退職金規程「別表1」の「別表2」改定案について</p> <p>9. 事務担当者会議について</p> <p>10. 定款施行についての細則変更案について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 義援金について ・ 総務財務委員会報告 ・ 安全会運営委員会報告 	<p>次回理事会で承認を求める</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p>
--	----	--	---